

事前評価チェックシート

計画の名称： 災害に強い県土づくり～海岸における安全・安心の確保～（防災・安全）（通常）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性	
②安全安心の確保に向けた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑥事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
⑦計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
⑧計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年10月20日

計画の名称	災害に強い県土づくり～海岸における安全・安心の確保～ (防災・安全) (通常)												
計画の期間	令和02年度～令和06年度(5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	沖縄県												
計画の目標	沖縄県は台風の常襲地帯であり、海岸は高潮、波浪等による被害を度々受けている。海岸保全施設の整備は進んでいるものの、老朽化が著しく防護機能が確保されていない箇所については、整備を促進する必要がある。 一方、優れた自然景観を有する本県の海岸は、観光立県沖縄の重要な観光資源となっている。 高潮・波浪、老朽化及び侵食に対する安全・安心の確保のため、想定浸水面積を0.6ha(R2)から0.0ha(R6)に減少させる。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	248	A	248	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	高潮・波浪、老朽化及び侵食に対する安全・安心の確保のため、想定浸水面積を0.6ha(R2)から0.0ha(R6)に減少させる。 想定浸水面積・・・高潮・波浪、老朽化、侵食等に対する防護機能が確保されていない海岸において、計画外力により浸水が想定される区域の面積	1ha	ha	0ha

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
海岸事業	A09-001	海岸	沖縄	沖縄県	直接	沖縄県	老朽化	水国	兼久海岸 海岸堤防等老朽化対策緊急事業	堤防L=110m	嘉手納町	■	■	■	■	■	248		策定済
		水管理・国土保全局																	
											小計						248		
											合計						248		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02				
配分額 (a)	27				
計画別流用増△減額 (b)	△27				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d- e- f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

計画の名称	災害に強い県土づくり～海岸における安全・安心の確保～（防災・安全）（通常）		
計画の期間	令和2年度～令和6年度（5年間）	交付対象	沖縄県

